

イレズミとピアス



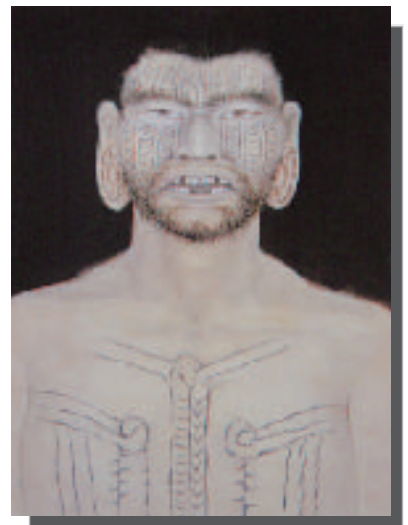
縄文人の頭蓋骨 宮野貝塚(岩手県) きれいな歯で、この人物の場合、抜歯はなされていない。現在ミュージアムで展示中。

川原田遺跡や宮平遺跡など、この御代田にもたくさん縄文人が住んでいた。縄文の人はいっただんな顔をしていたのだろう。各地から発見されている縄文人骨から、その顔が復元されている。

縄文人は、一般的には彫りの深い顔をしていました。また、よく噛んだため、頑丈なアゴをもち、歯並びもそろっていた。甘いものを食べないので、虫歯はほとんどなかった。

ただ、この時代あえて健康な歯を抜く、抜歯とよばれる風習があった。とくに口を開けたとき目立つ歯が抜かれたという。成人の全員が歯を抜き、一人が計10本以上抜く例も知られる。歯を抜く痛みに耐えてこそ、成人の証であった。

縄文人は、顔などにイレズミをする風習があったらしい。遺跡出土の土偶には、イレズミともとれる表現が残っているからである。耳たぶに穴をあけ、大きなピアスをつけていたのも縄文人だ。直径8センチの大きなピアスが宮平遺跡から出土している。



縄文男性の想像図。  
画:安芸 早穂子

企画展 日本人の起源をさぐる

■好評開催中! 9月10日(日)まで ■浅間縄文ミュージアム 常設・企画展示室

御代田町の人口(5月1日現在)

●人口 14,183人(先月比+15) 男7,122人 女7,061人  
●世帯数 5,444世帯(先月比+17) ●外国人登録者数 798人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 2464-2 ☎0267-32-3111